

”世知原っ子に「夢」と「笑顔」と「達成感」を”

夢をもち、心豊かで、たくましく生きる子どもを育成する



開 知

○笑顔いっぱい
○学びいっぱい
○元気いっぱい

世知原小だより第42号 平成31年1月21日 文責 久保 克則

よりよい学校給食を目指して

小学校、そして今では中学校においても、佐世保市では学校給食が定着しています。子どもたちは、毎日できたてのおいしい給食を食べています。



佐世保市では、「安全で栄養バランスのとれたおいしい給食」であることに重点を置き、食に関する指導の「生きた教材」として活用するために、学校給食の充実に努めています。また、子どもたちの豊かな味覚の形成や生活習慣病の予防の観点から日常の食生活の指標となるように配慮をしています。

そこで、実際に保護者の方々に給食を食べていただいたり、子どもたちの給食時間の様子を見ていただいたりすることによって、学校給食に対してご理解していただくとともに、ご協力をお願いするために、毎年「給食試食会」が各学校で実施されています。本校においても、PTA主催による1年生の保護者を対象とした「給食試食会」を17日（木）に実施しました。この日の献立は「ごはん 牛乳 春雨汁 鰯のみぞれ煮 浦上そばろ」という和食的なものでした。

試食した後は、1年生の教室に向かい、食べている様子を見てもらいました。1年生の子どもたちは、もうすっかり給食の準備に慣れ、てきぱきと用意することができます。この日も、笑顔でおいしそうに食べていました。

給食時間終了後に、学校栄養職員が学校給食についての話をしました。

献立の紹介の後、学校給食の「7つのねらい」を話しました。「①健康な体づくり②望ましい食習慣③共食④食べ物への感謝⑤食にかかわる人への感謝⑥地域の食文化⑦食をととした社会の仕組み」です。

次に献立を決めるときに考えている5つのことを話しました。「①野菜が不足しないようにする②魚と肉のバランスを考える③脂質の取り過ぎに注意する④豆腐や豆、芋が不足しないようにする⑤地場産物を使う」です。

最後に、家庭にお願いしたいことを話しました。「①給食の話題を取り上げてほしい②感謝を込めて食事のあいさつをしてほしい③食事の手伝いをさせてほしい（他のものでもいいので）④早寝・早起き・朝ご飯で生活リズムを整えるようにしてほしい」です。

今後も、安全でおいしい給食を子どもたちが食べることができるようにしていきます。

